

令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果における課題・意見への対応状況について

関連計画	令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果における課題・意見	対応状況
4	副専攻「岡山創生学」に関する実績として、27人の学生を地域創生推進士として認定しており、学生へのアンケートでも地域課題への知見の広がりを確認していることは評価できるが、成果指標である県内就職率が45.8%と目標に届いていない。岡山ならではの木材の研究なども学生に伝えるなど、地元への就職支援の充実を図ってほしい。	「岡山創生学」に続く、学部3年次生～大学院生を対象とした「『吉備の杜』創造戦略プロジェクト」を立ち上げ、令和3年度から新たな副専攻として開講する。当プロジェクトでは、大学・地域・企業が一体となった教育を行うことにより、学生が学びの中で県内企業の魅力を知ることができる仕組みを作り、更なる地元就職の促進と地域活性化を図ることとしている。
8	デザイン学研究科では、進路決定率が100%となっている点は評価できるが、定員充足率が34.4%と低いため、定員確保に向け努力してほしい。	大学院改革WGを立ち上げ、定員確保のため、社会人や留学生を受け入れるためのシステムや改革の方向性を検討している。
10	教育研究用施設・設備について、限られた予算の中で、緊急性など考慮しながら対応していることは評価できるが、引き続き予算確保や、効果的に施設整備を行うよう、努力してほしい。	予算の選択と集中を行いつつ、令和2年度は教育研究用施設・設備費の予算を増額し、限られた予算の中で整備を進めた。 令和3年度も、学科再編に伴う整備について、予算を増額して対応することとしている。
11 22	「地域インターンシップ」及び「エンジニアリング演習」の参加者実績が28名にとどまっていることから、参加者増加に向け、新たな受け入れ先をさらに開拓するなど努力してほしい。 また、新たな受け入れ先の開拓のみならず、学生にもっと関心を持ってもらえるよう努力してほしい。	インターンシップ科目の充実や学生への周知に取り組み、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも32名の参加があった。 令和3年度からは「吉備の杜」創造戦略プロジェクトに関連した受け入れ先の開拓に取り組むとともに、同プロジェクトでは大学院生も対象に加え、学生の受講促進に向けてPRを行っている。
12 13 47	高校生向けの情報発信について適切な時期に行われるよう、SNSの活用など、情報発信体制を充実させてほしい。 志願者倍率が目標を下回っているため、高校生に対する情報発信について、HPで実際の授業を動画で紹介するなど、分かりやすいものとなるよう工夫するとともに、デザイン学部の知見も生かして、PR方法を検討してほしい。	SNSをはじめとした各種広報ツールを使用した情報発信の充実に向けて、広報ツールの効果的な使い方の検討や広報体制の整備を進めており、令和3年度には入試広報用のLINEの導入、HPのリニューアル等、広報ツールの充実および新規事業として高校生対象の進学説明会を予定している。
21	岡山県内の事業所に魅力を感じてもらい、県内に残る人が増えるよう取り組んでほしい。	就職支援として、インターンシップ先の紹介やニュースレターの発行等で県内企業の広報に取り組んでおり、今後はそれらの認知度向上が課題である。また、デザイン学部の学生に対する岡山県立大学協力会企業の紹介を強化し、県内就職率の低いデザイン学部の地元就職率向上を図ることとしている。
32	TOEIC平均点が目標を大きく下回っている。学生全体のレベルを上げるのは難しいが、原因の分析を進め、海外の学生とのオンラインディスカッションなど、教育方法の改善に努めてほしい。	英語科目の単位認定の要件としてTOEIC L&R IP 300点以上を設定し、学生の学習意欲を高めることで、TOEIC L&R IPの1年次から2年次での平均点の伸びが39.88点と向上した。（前年度の実績：-24.85点） 令和3年度から英語科目のAdvanced classを新設する等、英語学習に意欲のある学生への学習効果を高める取り組みも進めている。